

2020年4月2日

投資者の皆様へ

T&Dアセットマネジメント株式会社

「T&D Jリートファンド限定追加型 1402」の基準価額の下落について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

足許の市場動向と「T&D Jリートファンド限定追加型 1402」(以下、「ファンド」ということがあります。)の基準価額への影響に関しまして、下記の通りご案内いたします。

今後ともお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

◆ ファンドの基準価額

ファンド名	2020年 4月1日 基準価額(円)	2020年 4月2日 基準価額(円)	騰落幅 (円)	騰落率 (%)
T&D Jリートファンド限定追加型 1402	9,070	8,540	▲530	▲5.84

(騰落率は小数点第3位四捨五入)

◆ 市況情報

	2020年3月31日	2020年4月1日	騰落率 (%)
東証 REIT 指数	1,595.19	1,498.06	▲6.09

(小数点第3位四捨五入)

上記については基準価額への反映を考慮し、3月31日と4月1日と比較しています。

出所:東京証券取引所、ブルームバーグ

◆足許の状況

2020年4月1日は、新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない中、都立学校の休校延長などの観測報道を受けて、東京都でロックダウン(都市封鎖)する可能性が高まったことや、底値からの戻りを受けて一部の投資家から利益確定の売りが出たと見られることなどから、Jリート市場は大きく下落しました。当面は値動きの大きい状況が続くことも予想されますが、引き続き市場動向等を注視してまいります。

このような市況の下、ファンドの基準価額が前営業日比 5%を超えて下落しました。

◆今後の見通し

新型コロナウイルス感染拡大に終息の目途が立たず、世界経済に悪影響を及ぼすことが金融市場の不安材料となっています。Jリート市場はファンダメンタルズに対する過度な懸念や国内金融機関の決算対策の影響を受けて売られすぎの状態にあると見ています。世界的な経済活動の停滞が懸念される中、当面は値動きの荒い相場展開が続くと予想されます。しかしながら、主要国の中央銀行は経済や金融市場の混乱を抑えるべく協調姿勢を強化し、各国政府も企業の資金繰りや家計を支援する新たな経済対策を打ち出しています。足許で各国が実行している感染防止策によって新型コロナウイルスの感染拡大が鈍化してくれば、市場も落ち着きを取り戻し、各国が打ち出している大規模な金融・財政政策による景気の下支え効果に期待が増してくるとみられます。そのような状況が見えてくれば、割安感の強いJリート市場も値を戻していくと考えています。

以上

* 東証REIT指数は、株式会社東京証券取引所(株東京証券取引所)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株東京証券取引所)が有しています。なお、本商品は、(株東京証券取引所)により提供、保証又は販売されるものではなく、(株東京証券取引所)は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません

当資料はT&Dアセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成したのですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また投資信託の取得をご希望の場合は、下記のご留意事項を必ずご確認ください、ご自身でご判断ください。

投資信託のお申込みに際してのご留意事項

投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券、投資信託証券など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)に投資しますので、運用実績は市場環境等により変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。これら運用による損益は全て投資者に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

投資信託に係る費用について

◇投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料・・・上限 4.40%(税込)

信託財産留保額・・・上限 解約金額・償還金額の1.00% または1口(設定時1口1万円)あたり250円

◇投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)・・・上限 年2.035%(税込)

その他費用・手数料・・・上記以外に保有期間に応じてご負担いただく費用があります。

投資信託証券を組み入れる場合には、間接的にご負担いただく費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの間接的な費用のご負担額に関しましては、その時々各投資信託証券の組入比率や取引内容等により金額が変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

*上記の費用の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

*詳細につきましては必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、T&Dアセットマネジメントが運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容をよくお読みください。